

地域の防災対策

自助・共助・公助の連携(相互協力)

自らの身は自ら守ることで。主に事前の防災対策から、他人に頼れない発災時に、災害での命を左右するのは、自助努力にかかっています。

自助

自分や家族

- 家具の固定、住まいの耐震化
- 飲料水、食料品の備蓄 など

住民の力では、どうにもならない状況での最後の受け皿といえるでしょう。避難所運営をはじめ被災生活から、仮設住宅や給付金など、生活再建段階で力となります。

公助

市区町村、都道府県、国、消防、警察、自衛隊など

個人や一家の力だけではどうにもならない状況において隣近所同士で助けあうことです。特に、発災直後から避難や後片付けの段階では、必要となります。

共助

隣近所、自主防災組織、防災士、災害ボランティアなど

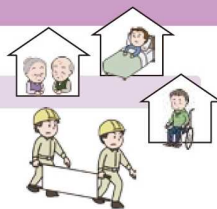
- 防災訓練の実施
- 地域に住む要配慮者に対する支援 など

- 防災対策の推進
- 自助、共助に対する支援 など

要配慮者のために

災害のとき支援が必要な人に優しく接しよう

突然起きる災害のときに、大きな被害を受けやすいのは要配慮者と呼ばれる人たちです。要配慮者とは、高齢者や子ども、障がいのある人、外国人など配慮が必要な人たちのことです。いざというときは地域のみんで協力して要配慮者を支援しましょう。



要配慮者になったつもりで防災環境の点検を

目や耳の不自由な人や外国人に向けた警報・避難方法が正しく伝えられるのか、放置自転車などの障害物は無いかなど、日ごろからの点検が大切です。



避難するときはしっかり誘導する

一人の避難行動要支援者に複数の住民が支援していくなど、具体的な救援体制を決めておきましょう。隣近所での助け合いがとても大切です。



困ったときこそ温かい気持ちで

非常時こそ、不安な状況に置かれている人に優しく接することが必要です。困っている人や要配慮者には思いやりの心を持って支援しましょう。



日ごろから積極的なコミュニケーションをとりましょう

災害のときに円滑な支援活動をするために、日ごろからコミュニケーションをとっていることがとても大切です。



避難行動要支援者

避難行動要支援者とは

災害時など、安全な場所に自ら避難することが困難なため、避難に支援を要する人です。

避難行動要支援者台帳の整備

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」の円滑な避難の支援・安否確認などに活用するため、市では避難行動要支援者台帳を整備しております。

避難行動要支援者台帳への登録方法

申込用紙に必要事項を記入のうえ、取手市役所 社会福祉課へ提出をお願いいたします。

※記載情報を民生委員・児童委員、自主防災組織、市政協力員、自治会、町内会、社会福祉協議会、消防署、消防団、警察に提出することを同意のうえ、お申し込みください。

避難行動要支援者の避難支援プランの策定

市では「避難行動要支援者の避難支援プラン」を策定しており、避難行動要支援者の定義や、申込書などを掲載しています。

市ホームページよりPDFファイルでダウンロードが可能です。 ※ホームページ右上の検索フォームより、「避難行動」と検索していただくことが可能です。

<http://www.city.toride.ibaraki.jp/shakaifukushi/kuurashi/anzen/bosai/sonaeru/daichotoroku.html>